

上村聡史芸術監督就任の第一作！
悪魔の舞踏会、しゃべる猫、そして不滅の愛と芸術賛歌——
20 世紀最高の奇想小説が、スペクタクル狂騒劇として蘇る！

令和 8 年度(第 81 回)文化庁芸術祭主催公演・昭和 100 年記念公演
2026/2027 シーズン 演劇

『巨匠とマルガリータ』 ヴィジュアル&トレーラー映像公開！



(上段 左から)成河、花乃まりあ、篠井英介 (下段 左から)松島庄汰、菅原永二、大鷹明良

2026 年 9 月より新国立劇場 演劇芸術監督に新たに就任する上村聡史。そのシーズンオープニングを飾る作品として、ミハイル・ブルガーコフ原作の『巨匠とマルガリータ』を、上村自身の演出により、11 月 7 日より中劇場にて上演いたします。上村がブルガーコフ作品の演出を手掛けるのは、第 32 回読売演劇大賞 優秀作品賞を受賞した『白衛軍 The White Guard』(2024 年上演)に次いで二度目となります。

本公演では、英国のナショナル・シアターなどで活躍したエドワード・ケンブによる戯曲版(2004 年初演)を採用。主人公の「巨匠」を小説家から劇作家に翻案したバージョンで上演いたします。

■ 鮮烈なカラーと様々な「笑み」—— 個性的で強烈なキャラクターたちが集う宣材ヴィジュアルが公開！

作品が痛烈な批判を受け、精神病院に身を寄せる劇作家、通称「巨匠」を演じるのは成河。その「巨匠」を愛し、彼を救うためなら悪魔に魂を売ることさえ辞さない女性・マルガリータ役に花乃まりあ。モスクワに突如現れ、人間の本性や社会の欺瞞を暴き出す悪魔ヴォランド役に篠井英介。悪魔の一味を追ううちに狂人とみなされ、精神病院に隔離されてしまう若き作家イワン役に松島庄汰。ヴォランドの付き人であるファゴット役に菅原永二。そして、「巨匠」が書いた戯曲の主人公であり、エルサレムを統治するローマ総督ポンティオ・ピラト役を大鷹明良が演じます。

ヴィヴィッドなカラーの背景の前で、6 人の登場人物たちが浮かべる様々な「笑み」。その笑みの裏には、一体どんな意味が

隠されているのか——。シュールでカオスな出来事が次々と巻き起こる、本作の“荒唐無稽”な劇世界を予感させる鮮烈なヴィジュアルに仕上がりました。

■「原稿は燃えない」——時を超えて届く、芸術の不滅性

原作『巨匠とマルガリータ』は、1928年～40年にかけて執筆された小説です。当時はソ連当局によって体制批判とみなされ、検閲版としてようやく出版にこぎつけたのは作家の死後26年が経った66年。完全版の出版は73年までかかりました。幻想と現実、そして時代を巡り、人間の善悪や愛、芸術の不滅性を奇想天外に描いた本作は、今日では20世紀文学の最高傑作の一つと呼ばれています。

本作に登場する「原稿は燃えない」という節には、物理的に原稿が燃やされても、そこに込められた思想や魂は決して消滅しないという、ブルガーコフ自身の信念と希望が込められています。芸術の根源とは、創造とは何かを見つめなおし、今を生きる勇気へとつながる力強い本作を、新芸術監督のシーズンオープニングを飾るにふさわしいスケールでお届けいたします。ぜひご期待ください。

ぜひ御媒体にて、本ヴィジュアル、トレーラー映像と共に本作をご紹介しますようお願い申し上げます。

『巨匠とマルガリータ』トレーラー映像

<https://youtu.be/DrBRCKVus7s>

※8/28(金)正午に公開いたします(それ以前は「限定公開」設定)。ぜひ URL をご紹介いただけますと幸いです。

公演概要

令和8年度(第81回)文化庁芸術祭主催公演・昭和100年記念公演
2026/2027 シーズン 演劇『巨匠とマルガリータ』



【公演日程】2026年11月7日[土]～23日[月・祝]

【会場】新国立劇場 中劇場

【原作】ミハイル・ブルガーコフ 【翻案】エドワード・ケンプ 【翻訳】小田島創志 【演出】上村聡史

【出演】成河、花乃まりあ、松島庄汰、菅原永二／明星真由美、小松利昌、富山えり子、内田健介、山本圭祐、山森大輔、柴 一平、采澤靖起、近藤 隼、猪俣三四郎、篠原初実、笹原翔太／大鷹明良、篠井英介

【芸術監督】上村聡史 【主催】文化庁／新国立劇場

【一般発売日】2026年9月13日(日)10:00～

【チケット料金】S席 11,000円／A席 7,700円／B席4,400円／Z席(当日)1,980円

【公式ウェブサイト】<https://www.nntt.jac.go.jp/play/the-master-and-margarita/>



ご観劇前にご確認ください

本作に含まれる表現については、
ウェブサイトの記載をご確認ください。

ものがたり

舞台は1930年代のモスクワ。文学界は官僚主義と検閲にがんじがらめ。そんな中、劇作家である、通称「巨匠」は、キリストの処刑を決めたローマ総督・ピラトを題材にした野心的な作品を書き上げる。しかし、その作品は体制に受け入れられず、激しい批判にさらされ、絶望の淵に突き落とされた結果、彼は自分の原稿を焼き払い、精神病院へと姿を消してしまう。一方、巨匠には愛する女性、マルガリータがいた。彼女は美しく聡明で、巨匠の才能を誰よりも信じていた。巨匠がいなくなり、絶望的な日々を送るマルガリータの前に、突如として奇妙な外国人ヴォランドとその取り巻きたちが現れる。ヴォランドはモスクワの街で様々な騒動を引き起こしながら、市民たちの本性を試そうとしていた。マルガリータは、唯一の願い“愛する巨匠と再び会うこと”を叶えてもらうためにヴォランドの取引に応じる。ヴォランドの目的、巨匠の運命、そしてマルガリータの愛の行方は一体どうなるのか——？

「シアターデイ」第一弾実施公演

上村聡史 次期演劇芸術監督の発案により、2026/2027シーズンより、公演日・枚数限定で20歳以下の方を無料で演劇公演にご招待する「シアターデイ」を新たに始動いたします。本公演がその第一弾となります。

お申し込み方法・詳細は、新国立劇場ウェブサイトをご覧ください。

受付開始日：2026年8月29日(土)10:00～ ＜先着受付＞

対象日程	①11月12日(木)18:00 公演 ②11月14日(土)13:00 公演
受付期間	8月29日(土)10:00～9月7日(月) ※期間終了後に残席がある場合、9月13日(日)10:00より追加で受付いたします。
対象年齢	小学生～20歳
対象席種	S席

【「シアターデイ」ご利用にあたっての注意事項】

- ・お子さまがお一人で公演を鑑賞することが難しい場合、保護者の方との同伴来場を推奨しております。
お子さまとの隣席でご購入いただくことが可能です。(保護者の方のチケットは有料となります。)
- ・「シアターデイ」のお申し込みには無料メールマガジン「新国メンバーズ」へのご登録が必要です。
- ・無料招待はご観劇当日に20歳以下の方が対象です。
- ・席種の選択はできません。

目や耳に障がいのあるお客様への観劇サポート

本公演では視覚・聴覚に障がいのあるお客さまへ、観劇サポートをご提供いたします。

2026年9月13日(日)10:00～ 予約受付開始

※サポートは無料。要予約、定員あり。

目に障がいのあるお客様への 開演前舞台説明会 & リアルタイム音声ガイド	① 11月18日(水) 13:00 公演
	② 11月21日(土) 13:00 公演
耳に障がいのあるお客様への ポータブル字幕機の貸し出し	① 11月19日(木) 18:00 公演
	② 11月22日(日) 13:00 公演

＜本件に関するお問い合わせ＞

新国立劇場制作部演劇 広報担当：杉田 TEL：03-5352-5738 Mail: sugita_a8863@nntt.jac.go.jp